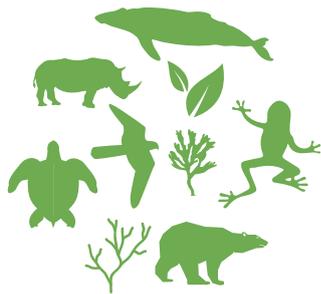




陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、 森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止 および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 以前

— 世界は2020年までに —
生物多様性損失を阻止するという
ターゲットを達成できず



3万1,000種を超える
生物が絶滅の危機

すなわち

評価対象となった
11万6,000を超える
生物種の27%が国際自然
保護連合 (IUCN) の
レッドリストに

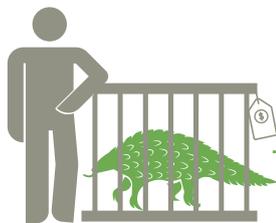


主に農地の拡大により
森林面積は依然として
恐るべき速さで
縮小している

● 毎年、1,000万ヘクタールの
森林が破壊 (2015-2020年)

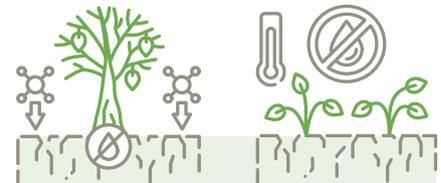
新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の影響

野生生物の違法取引が
生態系を混乱させ、
感染症の蔓延を助長



センザンコウは
コロナウイルスの
媒介生物である可能性あり

37万匹相当の
センザンコウが世界中で
捕獲された (2014-2018年)



地球上の陸域のうち
20億ヘクタールが劣化し、
およそ32億人が影響を
受けるとともに、
生物種の絶滅と
気候変動の激化が進行



生物多様性を国家計画策定に統合すると
いう国内目標達成のめどが立っているのは、
113カ国のうち3分の1のみ